

# 実際のやりとりの一例

ここでは、子どもたちと大人のトレーニング中のやりとりの一例をご紹介します。

大人による問いかけは、(a) 物語内容を確認する問いかけ、(b) 登場人物の気持ちや立場を考える問いかけ、(c) 各々の子どもの発言を受けて、理由をたずねる、発言を言い換えて整理するなど、理由付けや視点の違いを整理するフィードバックの3点で構成されます。(a)は物語内容の理解を確認し、(b)による心情理解を成立させるための基盤的機能を担う問いかけとして位置付けています。また、(b)については、役割取得能力の促進を目的とする本トレーニングにおいて、中心的な介入要素であり、直接的に登場人物の心情を問ひかける形式に限らず、「どうしたらいいと思う?」のように、登場人物の立場に立って考えさせることを目的とした問いかけも含めます。やりとりの例では、(a)、(b)、(c)もそれぞれ示しています。

## A児がボタンを押す ▶ 質問1「お話に出てきたのは、誰と誰でしょう?」の聴取後

おとな 物語に出てきたのは、誰でしょう? Aくん (物語内容の確認) (a) ニャーちゃんとレオくん、ウサギおじいさん (物語内容) A児

## B児がボタンを押す ▶ 質問2「ニャーちゃんとレオくんはどんなことをしましたか?」の聴取後

おとな 物語に出てきたのはニャーちゃんとレオくんとうさぎおじいさんだったよね。二人はどんなことをしたのかな? Bちゃん (物語内容の確認) (a) おじいさんの荷物を運んだ (物語内容) B児

おとな おじいさんの荷物を運ぶ手伝いをしてくれたんだよね。なんだっけ? おじいさんはどうしたんだっけ? (物語内容の確認) (a) えーと。りんごを4個くれた (物語内容) B児

おとな そうだね。りんごを4個くれたんだよね。りんごを1個くれて。そしたらレオくんは何と言ったの? Cくん (物語内容の確認) (a) 大きな荷物を運んだんだから3個 (物語内容) C児

おとな レオくんは、3個欲しいと言ったよね

## C児がボタンを押す ▶ 質問3「ニャーちゃんはどんな気持ちですか?」の聴取後

おとな レオくんは、僕は大きい荷物を選んだんだから、僕に3個ちょうだい。ニャーちゃんは、ちっちゃい荷物だったんだから1個でいいんじゃない? と思ったんだろうね、うん。ニャーちゃんはそれを聞いてどう思ったんだろうね。みんなはどう思う? もう1回、聞いてみようか? (心情理解の促進) (b)

## C児がタブレットを操作 ▶ ニャーちゃんのセリフ音声を聞く

おとな 僕も頑張ったから、りんごを2個食べたい (心情理解) A児

おとな りんごが欲しい (心情理解) B児

おとな いやな気持ち (心情理解) C児

おとな そうね。りんごが2個欲しいし、いやな気持ちになっちゃうよね。次の質問を聞いてみようか? 次、Aくんの順番だね (心情理解の促進) (b)

## A児がボタンを押す ▶ 質問4「レオくんはどんな気持ちですか?」の聴取後

### そのままA児がタブレットを操作 ▶ レオくんのセリフ音声を聞く

おとな レオくんは、僕は大きいお荷物を持ったから3個欲しいようって言ったね。レオくんは、どんな気持ちかな? (心情理解の促進) (b)

おとな レオくんはりんごが食べたくて怒っている気持ち (心情理解) A児

おとな 重たいの、ご褒美 (心情理解) B児

おとな 怒っている (心情理解) C児

おとな そうだね。ちょっと怒っているように見えるね。次の質問、聞いてみようか? (心情理解の促進) (b)

## B児がボタンを押す ▶ 質問5「ニャーちゃんは困ってしまいました」の聴取後

おとな ニャーちゃんは、どうして困っているのかな? (心情理解の促進) (b)

頑張ったけど、りんごが食べられない (心情理解) A児

りんごが2個欲しい (心情理解) B児

りんごが食べられないから (心情理解) C児

## C児がボタンを押す ▶ 質問6「2人で何個ずつりんごを分けたいですか?」の聴取後

おとな 4個りんごがあって、2人でどうやってりんごを分けたいのかな? レオちゃんとニャーちゃんの気持ちを考えると、どうしたらいいのかな? (心情理解の促進) (b)

2個ずつ分ける (解決案) C児

おとな 2人が2個ずつなら同じ数だね。でもさあ、レオくんは大きい荷物持ってさ、頑張ったから3個欲しいって言ってるよ? レオくんが3個、ニャーちゃんが1個はだめ? (理由付け・視点整理の促進) (c) かわいそうだから2個 (理由付け) C児

おとな どうしてかわいそうな感じがするの? (心情理解の促進) (b) 1個しか食べられないから (理由付け) C児

おとな そうだね。Bちゃんは、どうしたらいいと思う? (心情理解の促進) (b) 2人で助けたから2個 (理由付け) A児

おとな 2個ずつがいい (解決案) B児

おとな ニャーちゃんは小さい荷物だから、レオくんは3個欲しいって思ったのかも。レオくんは、どうしたらいい? (理由付け・視点整理の促進) (c) でもさ、小さい人はさ、小さいのしか持てないから (理由付け) A児

おとな ニャーちゃんはちっちゃいから、ちっちゃい荷物を持っても重いし。でもレオくんはおっきいからおっきい荷物を持ってもOK (理由付け) C児

おとな うん。そうね。確かにさ、レオくんはさ、重たい荷物を運んだけどさ、体が大きいから、その分大きい荷物だったんだよね。ニャーちゃんは体が小さいから、その分小さい荷物だったんだよね。ニャーちゃんが大きい荷物を持ったら、重すぎて潰れちゃうかもしれないもんね。だから、2人とも自分の体に合った力で頑張って、2人とも同じくらい頑張ったっていうところは同じだよ。だから半分こに分けるっていうの、すごくいいことかもしれないね。2人とも頑張ったんだよね。どうしてこんなに頑張ったんだっけ? (理由付け・視点整理の促進) (c)

おじいちゃん役に立ちたい (心情理解) A児

助けてあげたい (心情理解) C児

おとな 荷物を持ってきて嬉しかったから、お礼にくれたんだよね。ってことは、荷物を持ってくれた、頑張ったことに対して嬉しいよって言うってお礼くれたんだよね。そしたら、頑張った気持ちはレオくんもニャーちゃんも同じ。荷物の大きさは違ったけど、頑張ったことは同じだから、2個ずつ分けるといいなっていうふうに考えたってことかな? (心情理解の促進) (b)

それぞれうなずく (応答) うん A児

うん B児

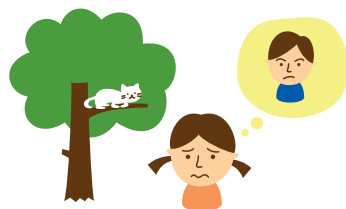
うん C児

おとな いいこと考えたね。じゃあ、これで終わりにします (応答)

# トレーニングの評価方法・考え方

トレーニングの効果については、トレーニング開始前 / 全クール終了後に役割取得検査 (荒木, 1988) を実施して評価します。「研究」として効果を評価するには、そのような手続きが必要ですが、各回のトレーニングの回答や普段の様子からも、右図の役割取得能力の発達段階の特徴を参考に、その発達を理解することができます。

右の図が  
お子さんがどの段階に  
相当するかを考える際に  
参考になります！



## 役割取得検査で用いる物語課題の概要

木登りの上手な女の子の順子さんは、木に登って遊ぶのが好きなのですが、ある時、木から落ちてしまいました。怪我はありませんでした。それを見ていたお父さんが、もう木に登ってはいけなくとつくり、順子さんに約束をさせます。

ある日、隣の太郎くんが可愛がっている子猫が、木に登って降りられなくなってしまいました。まだ幼くて木に登れない太郎くんは、子猫を降ろしてくれるように順子さんに頼みます。

順子さんはお父さんとの約束を思い出して困ってしまいました。

※役割取得検査については、(株)トーヨーフィジカル <https://www.toyophysical.co.jp/yakuwarisayutoku.htm> にて購入可能

		実施日	
トレーニングを実施した 4 歳児の回答		2019.1.10 (トレーニング開始前)	2019.2.20 (全クール終了後)
いつも		こたえ	こたえ
質問 ①	じゅんこさんは、なぜこまっているのかな？	わからない ヒントちょうだい	猫を降ろしてやめと言われたから お父さんの約束を思い出したから
質問 ②	じゅんこさんはどうするのか？ 木にのぼるのかな？のぼらないのかな？	登る	登らない
	なぜ、のぼる(のぼらない)と思うの？	また途中の枝に ひっかかるから	お父さんと木に登らないと 約束したから
質問 ③	じゅんこさんが、木にのぼったとしましょう。 もし、お父さんがそれを見つけたとしたら、 どんな気持ちになるのかな？	悲しい気持ちになる	困る
	なぜそう思うの？	わからない	もし木に登ったら、落ちて 死んでしまうかもしれないから

※質問 4、5 は役割取得能力の発達段階 2 および段階 3 を評定するための質問であり、4 歳および 5 歳児における出現率は 0% であることから (荒木, 1988)、本研究の参加児の年齢を考慮し実施していない。

※詳細については、本間優子・阿部学・株田昌彦 (2021). 幼児向け役割取得能力トレーニング用デジタル絵本アプリ「こころえほん」の開発と評価. 教育システム情報学会誌, 38, 363-368. に掲載。

# 役割取得検査による 役割取得能力の発達段階の特徴

(荒木, 1988 および Selaman, 1995 を参考に作成)

Q. 木に登っている順子さんをお父さんが見たら、お父さんはどんな気持ちになるのかな？

## 段階 0A

いいことをしているから  
嬉しいと思う



ポイント

木に登っている子猫を助きたい順子の気持ちと、木に登って欲しくない父親の気持ちを区別できない。

## 自己中心的役割取得

他人の表面的な感情の理解や表情は理解するが、自分の感情と混同することが多い。同じ状況にいても、他の人と自分では違った見方をすることに気づかない。

## 段階 0B

叱る。  
約束を破ったから



ポイント

父親の「心配」にまで考えが及ばないで、「約束」や「叱る」といった外的な手がかりで判断する。

## 自己中心的役割取得

泣く、笑うなどははっきりとした手がかりがあると、相手の気持ちを判断することができる。しかし、相手の心の奥にある本当の気持ちまでは考えが及ばない。

## 段階 1

お父さんは、ケカをするといけなからバ配する。  
また落ちたら可哀想と思う。



ポイント

順子の気持ちと父親の気持ちは違うことを適切な理由で理解できる。

## 主観的役割取得

自己の視点と他者の視点を区別して、与えられた情報や状況が違っていると、それぞれ違った感情を人は持ったり、異なった考え方を持つことが理解できる。しかしながらそれを同時に関連づけることはまだ難しい。

Q. 順子さんは、木に登っているところをお父さんが見たら、お父さんは自分のことをどう思うと考えるかな？

## 段階 2

お父さんは、私がどうしても子猫を助けないことをわかってくれる！

どうしても助けないのならいいよ！



ポイント

順子の視点に立ちながらも、父親が順子の行動についてどのように考えるのかを予測できる。

## 自己内省(二人称相応)的役割取得

他の人が自分の感情や思考、行動をどう思っているのかを内省できる。お互いの視点から自己と他者の気持ちを推測することができる。

Q. 木に登る前に、順子さんとお父さんでどうすればよいか話し合っていたら、どうなっていたかな？

## 段階 3

お父さんがバ配するのわかるけど、子猫を助けないから登らせて！

怪我しないかバ配だから、お父さんが木に登るよ



ポイント

順子と父親の立場を同時に考慮して対応策を考えることができる。

## 相互(三人称)的役割取得

自己と他者の視点以外の第三者の視点を想定できる。人間はお互いの考え方や感情を考慮して行動していることに気づく。それぞれの人の立場や相互作用を第三者の立場から考慮できる。